

第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 たがいの立場を明確にして、話し合おう 「よりよい学校生活のために」

2 単元の目標

- 情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うことができる。 [知識及び技能(2)イ]
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 [思考力、判断力、表現力等A(1)ア]
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等A(1)オ]
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝えようとする態度を養う。 [学びに向かう力、人間性等]

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報と情報の関係付けの仕方 図などによる語句と語句との 関係の表し方を理解して使っ ている。	・「話すこと・聞くこと」におい て、目的や意図に応じて、日 常生活の中から話題を決め、 集めた材料を分類したり関係 付けたりして、伝え合う内容 を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」におい て、互いの立場や意図を明確 にしながらか計画的に話し合 い、考えを広げたりまとめ たりしている。	・進んで、目的や意図に応じて、 話題を決め、学習の見通しを もって必要な情報を集めよう としている。

4 単元について

(1) 本単元で行う主たる言語活動と扱う教材について

本単元では、「A 話すこと・聞くこと」の言語活動例「それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を踏まえ、互いの立場を明確にして話し合い、意見をまとめる学習を行う。考えを広げる話し合いと、考えをまとめる話し合いの段階を意識しながら話し合っていくという言語活動を設定する。

自分の考えをグループで共有し、より良い考えへと練り上げることで自分たちの生活が、広がっていくことを本単元で経験をさせる。そのために、ホワイトボードと「条件カード」を使い、児童が身の回りの問題について自分の考えや意見をもった上で、解決に向けて小グループで合意形成を行うという目標を達成させる。

ホワイトボードに話し合いの経過を記録していくことにより、一人の意見だけでまとめてしまうの

ではなく、全員が積極的に話し合いに参加することができる。書いたり消したりすることが容易なこと、話し合いの経過を見返しやすいため、意見が出しやすくなり、共通点や相違点を見つけ、全員の意見を反映させることがしやすくなる。条件カードには、話し合いをまとめる際に必要な「条件」とグループで話し合い、新たに決めた条件を書くことのできるスペースをつくっておく。

「条件」は、本単元で2回行う話し合いの1回目で条件として出たものを書いておく。条件を決めることの重要性に気付くことができるよう、1回目の話し合いの振り返りの際に条件について考える機会をとる。

話し合い活動の経験が浅い児童が自信をもって取り組むことができるように、単元の中で繰り返し話し合い活動を行う。機会を増やすことで話し合いの流れを理解し、場の雰囲気慣れを期待する。それぞれが積極的に進行に協力していく力を育てると共に、話の中心に気を付けて聞き、共通点や相違点を付箋などで整理しながら考え、質問したり意見を述べたりすることで、合意形成の力を身に付けさせたい。巻末の「図を使って考えよう」などを活用し、考えをグループの皆で整理して話し合いを進め、グループの全員の意見を引き出していきたい。

議題を身近なものにすると意欲が高まる良さがある一方で、話し合いに参加する児童が納得する丁寧な話し合いを行う必要があると考えられる。自分の意見に対し、反論があったときに自分が否定されたような気持ちにつながりやすい。こうしたとき、事実と意見と区別しながら話し合うことが重要となる。コラムとして書かれている「意見が対立したときには」などを活用しながら、相手の立場に合わせ、表現や伝え方を変えることでより相手から納得を得やすくなるというような話し合いの経験をさせたい。

第一次では、学習の見通しをもち学習計画を立てる。また、話し合う議題を決める。議題を決める際にはクラスで「よりよくしたいことや改善したいこと」ということで意見を出し合い、その中から2つの議題に絞る。児童にとって問題意識を感じやすくするために、今月の目標を決める際に度々議題に上がる「挨拶」や「掃除」などを例に「進級までの日数をどう過ごすか」と問いかける。話し合い後に実際に行動していくことも伝え、具体的な策を考えることを意識付けさせる。議題の中で最も意識が高かったものを1回目の話し合いで扱う。2回目の話し合いでは、意欲の高い議題ごとに個別にグループを組み、話し合いを行うことを伝える。自分の解決したい議題で話し合う機会を作ることで意欲を高める。

第二次では、議題に対する自分の意見を現状と問題点、解決方法、その理由の観点で付箋にまとめて書く。立場を明確にするために、まず自分がどのような意見を持っているのかを書き出すことで視覚化し、考えを広げやすくする。次に、議題に対しての話し合いをグループで行う。その際、付箋を活用して共通点や相違点を明確にし、意見をまとめながら話し合いを進める。自分たちのグループだけではなく、他のグループの話し合いの様子を学習用タブレットで撮影しておき、振り返りに活用することで、自分だったらどうするかと考え、改善点を考える。振り返りを生かし、もう一度話し合いを行うことで、意思決定の求められる場では、それぞれが積極的に協力することができる。また、共通点や相違点を整理しながら考え、まとめながら話し合いを進めることで、話し合いがまとまる経験を通し、合意形成のための話し合いに対する理解が深まることにつながる。と考える。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元は、学習指導要領第5学年及び6学年「思考力、判断力、表現力等」の「A 話すこと・聞くこと」(1)「ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」、「オ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること」を特に意識して設定している。

これらの指導事項を受け、児童に身に付けさせたい力は、「自他の意見を比較して考え、互いの立場や意図を明確にしながらか、身の回りの問題を解決するために話し合おうとする力」である。

一つのテーマに対し、自分の意見をもつことができるように、付箋に「現状と問題点」「解決方法」「理由」をそれぞれ分けて書き出し、自分の考えをもった上で明確に表す取り組みを行う。「意見が対立したときには」や「図を使って考えよう」などの教科書教材を活用する。「意見が対立したときには」では、自分の意見との共通点や相違点を把握することで、相手の立場を理解し、考えを広げるために必要な、表現方法を学ぶことを期待する。また、「図を使って考えよう」では、考えをまとめるときにどのような図を使うとわかりやすくなるのかを学ぶ機会とする。児童に身近な議題を選び、日常生活に自分たちの話し合いの結果が生かされることを意識させたい。

本単元において、小グループで話し合いを行うことで合意形成に至る話し合いの流れや必要なことを意識させたい。グループで出た話し合いの結果を、学級活動の時間に共有することで、小グループで身に付けた力をクラスの話し合いの中で生かす機会としていきたい。

(3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

・年間を通した「朝のスピーチ」活動

話すことや聞くことに苦手意識がある児童がいるため、朝の会の際に全員がスピーチを行う活動を年間通して行う。1人1分程度で小グループ内においてスピーチを行い、その後同じ内容のスピーチをグループ代表1名が皆の前で行う。グループ代表は輪番制で行い、毎日異なる話題でスピーチを行う。小グループで話すことで自信を付け、その後クラス全体に話すことを経験することで相手に伝える話し方を身に付ける機会とする。また、聞き方についても毎回のスピーチで確認し、「聞き方マスター」として常時掲示することで、話を聞く姿勢を意識することを期待する。

・図を使った話し合い

学級会などの話し合いの際に図や付箋を使った話し合い活動を取り入れる。文字や記号を用いることで分かりやすくまとめることができることを実感させたい。また、図を使ったメモの取り方や考えのまとめ方に親しむために、他教科や朝の学習時間を活用する。イメージマップやKJ法など様々な考えの広げ方とまとめ方の経験をして、それぞれの方法の良さを実感することができると思う。

5 指導計画（全6時間）

次	時間	学 習 活 動	指導や支援の手立て ◇評価
第一次	1	○学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立て、議題を決める。	○単元の学習課題を意識させるため、グループでの話し合いを行った後、クラスで話し合うことで議題を2つに決める。 ◇学習計画を立て、課題を考えようとしている。【態】（記述）
	2	○1つ目の議題に対する自分の考えを「現状と問題点」、「解決方法」とその「理由」を付箋に書き出し、まとめる。	○1枚の付箋に1つの解決法をメモし、解決法は具体的に書くようにする。 ◇自分の考えを観点に沿って、書き出している。【思】（付箋）
第二次	3	○話し合いの方法や役割を確認する。 ○議題に対しての話し合いをグループで行う。 ○付箋をグルーピングしながら解決策をまとめ、話し合いを進める。	○理由を伝えたり質問をしたりしながら、議題に向けた解決方法について考えを広げたりまとめたりしているか確認する。 ◇計画に沿って話し合いを行ったり、質問をしたりしている。【思】（発言）
	4	○前回の話し合いを振り返り、話し合いの進め方や役割の重要性を考える。 ○「意見が対立したときには」を読み、言葉の使い方と意識のもち方について確認する。 ○2つ目の議題に対する自分の考えを「現状と問題点」、「解決方法」とその「理由」を付箋に書き出し、まとめる。	○前回の自分たちの話し合いの動画を見て、課題を見つける。 ○条件について確認する。 ○考えを広げる話し合いや考えをまとめる話し合いのやり方を確かめる。 ◇話し合いのゴールを明確にもち、より良い話し合いになるための手段を考えている。【思】（記述・発言）
	5 （本時）	○話し合いの計画に沿って司会や時間係、記録係などの役割を決め、議題に対しての話し合いを、グループで行う。 ○付箋をグルーピングしながら解決策をまとめ、話し合いを進める。	○理由を伝えたり質問をしたりしながら、計画に沿って話し合い、議題に向けた解決方法について考えを広げたりまとめたりしているか確認する。 ◇計画に沿って話し合いを行ったり、質問をしたりすることができる。【思】（発言・記述） ◇積極的に自分の意見を伝えたり、グループの意見を広げたり、まとめたりしようとしている。【態】（発言・付箋）
	6	○前回の話し合いを振り返る。 ○学習全体を振り返り、話し合いの方法について、今後の学習にも生かせるようまとめる。	○話し方の結果だけではなく、良いと思った発言の仕方やまとめ方なども共有する。 ◇立場を明確にした話し合いについて、単元全体を振り返ろうとしている。【態】（発言・記述）

※学級活動の時間では、グループの話し合いの結果を共有し、クラス全体で行う解決策について話し合う。

6 本時の指導

(1) 目標

互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
 [思考力、判断力、表現力等]

(2) 展開 (5/6)

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◇評価
3分	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○前時で出し合った話し合いの課題を確認し、今日の話し合いでは、どの点を改善させていくのか確認する。
意見のちがいをふまえて、より良い考えにまとめよう。		
7分	2 話し合いの議題とそれに対する自分の意見、話し合いの進め方を確認する。 ○進行表	○前時に作成した話し合い進行表と役割分担を確認することで話し合いの内容に集中できるようにする。 ○付箋の使い方や時間配分、条件なども考えて進めるよう確認するよう促す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ意見を出し合う ・互いの考えについて質疑応答する ・互いの考えの共通点や異なる点を確認する ・考えをまとめるための条件を考え、その条件に沿って話し合う ・まとめる </div>		
25分	3 進行表に沿ってグループで意見をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・私は朝の挨拶活動を行うべきだと考えます。理由は、朝から挨拶をすることで、気持ちも良くなり、1日の中でより挨拶を意識するようになるからです。 ・○さんの意見から、挨拶をすることができたかどうか、自分で振り返る機会を作るという点が良いと思います。 ・具体的には、何をしますか。 ・気持ちの良い挨拶をしていた人を紹介するという考えもありますね。 ・条件には、毎日続けやすいということを入れたほうが良いと思います。 	○解決策の付箋がグループで見ることができるよう、ホワイトボードに貼って共有することを確認する。 ○付箋をグルーピングし、意見を分類させたり、関係付けたりするよう促す。 ○「考えを広げる話し合い」の時には、意見を広げることができないかという観点をもって話し合うように促し、考えに広がりをもたせる。 ○「考えをまとめる話し合い」の時には、条件をどのように決めるかの観点をもって話し合うよう促す。 ○条件が決まらないグループには、付箋のグルーピングを見返し、共通点や相違点に注目するよう促し、条件をカードに書けるようにする。
○役割 <ul style="list-style-type: none"> ・司会・時間係・記録係 		

10分	<ul style="list-style-type: none"> ・○さんの考えと△さんの考えを合わせてみるとどうでしょうか。 ・条件から考えると、いちばんこの意見が当てはまっていると思います。 <p>4 本時の振り返りをし、次時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○条件カードから条件を考えてもよいことを伝える。 ◇計画に沿って話し合いを行ったり、質問をしたりすることができる。【思】(発言・記述) <ul style="list-style-type: none"> ○前回の話し合いから、改善できた点を確認する。 ○新たに生じた問題点を確認し、学級活動の時間の話し合いにつなげる。 ○今回の話し合いの結果を学級活動の時間で共有し、実際に行動に移していくことを伝える。 ○話し合いをしてみてわかった良い発言の仕方やまとめ方を次回まとめることを伝える。
-----	---	---